



庚申(こうしん・かのえさる)碑・庚申塔について

庚申とは、甲子(きのえね)から始まり60番目の癸亥(みずのとい)までの「十干十二支」の組合せのうち57番目に巡ってくる干支のことで、庚申の日というのは、平安時代に中国から伝来した「庚申信仰」からきているそうです。

人の体内には「上尸(じょうし)、人の頭の中に潜み、首から上の病気を引き起こす虫」、「中尸(ちゅうし)、人の腹の中に潜み、臓器の病気を引き起こす虫」、「下尸(げし)、人の足の中に潜み、腰から上の病気を引き起こす虫」の三尸(さんし)という三匹の虫が潜んでいると考えられていました。

この三尸は人が死ねば自由になれるので、人の寿命を縮めようと常々スキをうかがっていますが、普段は体内から出ることはできず、庚申の日だけ人が眠っている間に体内から出て行くと考えられていました。

人が眠った後、三尸は天に昇って天帝に人間の悪行を告げ、天帝はその悪行に応じて、その人の寿命を決めていくといわれ、人々は寿命を縮められては大変なので、三尸を食べてしまうとされる青面金剛を祀ったり、庚申の日は集まって夜籠りして身を慎んだといわれています。これを「庚申待」といい、寝ずに神仏に祈りをささげたり、みんなで集まって酒を飲んで夜を明かしたということです。江戸時代になると庚申待を18回繰り返すとその記録として庚申の石碑を建てるようになったということです。



秋保

道ばたの神々 湯元～境野編

いってみっぺ

秋保

道ばたの神々 湯元～境野編

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市

連絡先：秋保総合支所総務課(022-399-2111)

秋保市民センター(022-399-2316)

五穀豊穰や家内安全、無病息災を祈って

建てられた石塔や社など、

道ばたにある神々を巡り、これを建てた

昔の人々の心に触れてみませんか。

訪れてみたい秋保

二口街道ツアー 62

No.24

掲載されている情報は、平成31年3月現在のものです。

秋保地区を東西に貫く「二口越え最上街道」は、仙台と山形を結ぶ交易の道であり、山寺を開基した慈覚大師ゆかりの修験の道、出羽三山参りの信仰の道でもあったことから、この街道筋には多くの石塔(道ばたの神々)があります。

昔の人々が生活の不安などから神や仏を信じ、無病息災や家内安全、五穀豊穰を祈り、全国の霊験あらたかな神寺を、講をつくって代参して勧請したり、或いは諸国を巡る修験者の教を受けて辻々に建立したもの、また辻々の石塔には道しるべとして「道の神」としての役目を併せ持つものもあります。



道ばたの神々（湯元～境野編）



④ 橋本の石塔群

秋保街道（二口街道）から容易に見ることのできる石塔群です。かつてはこのあたりが古道の辻だったものとおもわれます。



① 村境の馬頭観世音

東生出村・西秋保村と刻まれた村境石柱の隣に、文政二年の年号と頭部に梵字が刻まれた馬頭観世音があります。

馬頭観音は、宝冠に馬頭を戴く憤怒の相をした、顔が三つで腕が八本の観音様で、旅と馬の守護神として信仰されたようです。



秋保地区では一般的に言われる神としての「道祖神」が確認できないことから、馬頭観音が防障・防塞の神・行路の神として習合し、村中・組中で村境や辻・橋のたもと等に建てられたものと思います。

② 硯橋の西袂の石塔群

湯元の交通の要所だった靚橋、そのたもとは大小15基の石塔があります。靚橋の架け替えを含む道路改工事に伴ってこのあたりに移されたものです。



③ 細野原の馬頭観世音

ここの石塔は道の神としての意味を持つ馬頭観音と考えられます。道しるべには、路標と案内者の二つの意味があるといわれます。



5 境界野尻
神ヶ根温泉入口の石塔

二口街道から羽山への分かれ道の傍らに青麻三光宮、子安観世音と四角柱の三面に「水神・仙人大権現・牛頭天王」と刻まれた石塔があります。



⑩ 上戸の辻
長袋へと通ずる旧館方面へと分かれる神、古峯神社と萬延三ります。
山神は、春に山か神となり、秋の収穫に帰り山の神となるといわれています。
かつて秋保郷では、春と秋に山神を奉る山の神講の行事が集落ごとにある、集落や里山の入り口にあたる所に山口にあたる所に山神碑や祠が祀られています。

長袋へと通ずる旧二口街道から境野館方面へと分かれる辻で、馬頭観音、山神、古峯神社と萬延二年の石塔四基があります。



⑨ 桜町の辻

旧二街道と板風道、川崎へと通じる道が十字路で結ばれた交通の要衝だった通称「桜町」。秋葉山大権現、湯敷山大権現、子安観音像、馬頭観世音、一宮塩竈大明神、金毘羅大権現、金華山小牛田山神など江戸時代中頃〜大正時代まで大小16基の石塔が立っています。



8 旧板風道沿いの

「真享年間の万歳碑」
大阪の夏の陣凱旋萬歳碑と云われる
石塔です。



7 森の下板風道の石塔群

板嵐道が山道に入る通称森の下の東側に、大
神宮、庚申、馬頭観音、蔵王大権現など七基の石
塔があります。



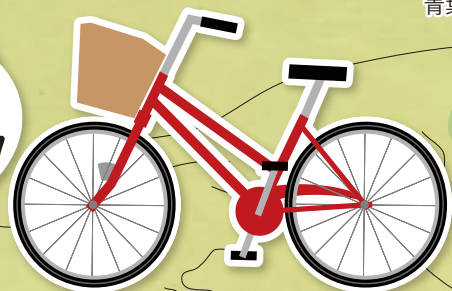
⑥ 境界野尻板風道分かれ
金剛山碑

二口越え最上街道から板風道への分岐点に「金剛山、馬頭観音」がひっそりと建っています。



これは、栃木の金剛峯権現を祀ったもので、明治初年の神仏分離令により古峯神社となった、火防・盗難除けの古峯信仰の石塔です。

自転車での
周遊が
おすすめ!



周遊約15km
徒 歩👉 周遊約3時間
自転車👉 周遊約1時間30分